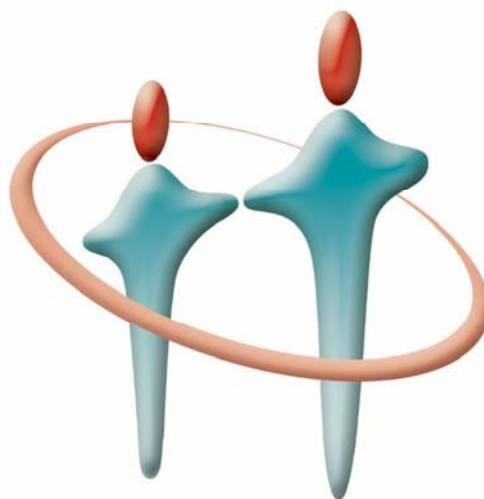


平成27年度事業報告/ 及び決算報告



JAPAN SOCIETY OF
NINGEN DOCK

公益社団法人

日本人間ドック学会

目次

(事業報告)

I. 序章	1
1. 事業実施事項	1
2. 役員／社員／会員数等	3
II. 人間ドック認定医制度	4
1. 第17回人間ドック認定医認定	4
2. 第12回人間ドック認定医更新	4
III. 人間ドック健診専門医制度	4
1. 平成27年度人間ドック健診専門医認定試験 認定者数	4
2. 人間ドック健診専門医制度 研修施設・指導医 認定・更新数	4
IV. 人間ドック健診施設機能評価	5
1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数	5
2. 第16回サーベイヤー研修会	5
3. 公式講習会	5
4. 健保連等との人間ドック指定契約	6
V. 研修会・人材育成活動	7
1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	7
2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	8
3. 人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会	9
VI. 第56回 日本人間ドック学会学術大会	11
1. 開催概要	11
2. 学術大会主要プログラム	12

(決算報告) 平成28年3月31日 現在

1. 貸借対照表	1
・貸借対照表内訳表	2
2. 正味財産増減計算書	3
・正味財産増減計算書内訳表	4
・財務諸表に対する注記	6
3. 財産目録	7
・附属明細書	8

事業報告

<事業報告>

I. 序 章

1) 事業実施事項

1. 学術大会開催に関する事項

第56回日本人間ドック学会学術大会

期 日：2015年（平成27年）7月30日（木）～31日（金）

会 場：パシフィコ横浜

テーマ：「人間ドック健診イノベーション ～新機軸の創生と展開～」

学術大会長：土 屋 敦（医療法人社団 相和会 理事長）

2. 研修会開催に関する事項

- ①人間ドック健診認定医・専門医研修会の開催（年3回）
- ②人間ドック健診施設機能評価サーベイヤー研修会の開催（年1回）
- ③人間ドック健診施設機能評価公式講習会の開催（年3回/東京・福岡）
- ④人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催（年2回）
- ⑤人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催（年5回）

3. 人間ドック認定医・専門医制度に関する事項

- ①人間ドック認定医の質の向上と強化
- ②人間ドック健診専門医試験の実施（日本総合健診医学会と共同実施）
- ③人間ドック健診指導医の認定・指導医育成のための研修会の実施
- ④人間ドック健診研修施設の認定
- ⑤新機構専門医制度整備指針（第1版）に基づいた制度の再構築

4. 人間ドック健診施設機能評価に関する事項

- ①人間ドック健診施設の審査・認定
- ②人間ドック健診施設機能評価受審の推進（バージョンアップに向けた検討含む）
- ③簡易版人間ドック健診施設機能評価（Ver.E）運用についての検討
- ④旧二日ドック指定施設への対応についての継続検討
- ⑤保健指導実施健診施設の調査事業の検討
- ⑥サーベイヤー教育研修の企画検討

5. 人間ドック健診情報管理指導士に関する事項

- ①人間ドック健診情報管理指導士の認定
- ②人間ドック健診情報管理指導士の更新

6. 特定健診・特定保健指導に関する事項

- ①特定健診・特定保健指導施設のとりまとめと保険者への紹介（集合契約A）
- ②特定健診・特定保健指導に関する情報収集活動の強化

7. 健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

- ①人間ドック健診施設との一日ドック・二日ドックの指定契約
- ②旧二日ドック指定施設の実査の実施
- ③他団体との指定施設統一化の検討

8. 広報活動に関する事項

- ① 学会誌「人間ドック」の充実、投稿の拡大強化
 - VOL. 30 NO. 1 2015. 6（原著論文・学術大会）
 - VOL. 30 NO. 2 2015. 7（学術大会プログラム・抄録集）
 - VOL. 30 NO. 3 2015. 9（原著論文集）
 - VOL. 30 NO. 4 2015. 12（原著論文・学術大会開催案内集）

VOL. 30 NO. 5 2016. 3 (原著論文/学術大会開催案内第2弾)

②英文誌「Ningen Dock International」の充実、投稿の拡大強化

VOL. 3 NO. 1 2016. 3 (原著英文誌)

*英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1～2回とする

③ホームページの英語版ページの充実化

④電子化し、独立行政法人科学技術振興機構(JST)が構築したJ-STAGEに登載する

⑤国内外学術団体及び協力団体等との情報交換を積極的に展開

⑥学会活動状況を積極的に公開

9. 委員会活動に関する事項

①基本問題検討委員会

②人間ドック健診の有用性に関する大規模研究委員会

③総務/広報委員会

④健保連人間ドック健診の名称及び質等に関する検討会

⑤人間ドック健診施設機能評価委員会

・機能評価事業運営検討小委員会

・保健指導実施施設調査事業検討小委員会(調査報告会)

⑥倫理委員会

⑦学術委員会

・がん登録小委員会/基準検査検討小委員会/喫煙対策小委員会/

女性の人間ドック健診の在り方に関する小委員会

⑧人間ドック健診統計調査委員会

⑨人間ドック画像検査判定マニュアル作成委員会

⑩国際委員会

⑪遺伝子検査に関わる検討委員会

⑫編集委員会

・Pub Med ならびに Web of Science 収録に関する小委員会

⑬人間ドック健診専門医制度合同委員会(日本総合健診医学会との合同委員会)

・試験問題検討/作成小委員会/認定小委員会/研修会検討小委員会/

施行規則細則改定小委員会/研修プログラム・カリキュラム検討作成小委員会

⑭人間ドック健診認定医/専門医制度委員会(単独)

⑮特定健診/特定保健指導対策委員会

⑯社員選任/役員選定委員会

⑰外部委託委員会

・デュアルインピーダンス法による内臓脂肪面積測定の臨床的有用性に関する委員会

その他必要とされる委員会は逐次開催する。

10. 統計・調査に関する事項

①人間ドック健診受診者データの経年的分析、蓄積

②特定健診/特定保健指導受診者数データの整理、蓄積

③行政機関、他の学術団体との比較可能なデータの集積

④人間ドック健診施設機能評価認定施設のデータの整理

11. その他

①日本医学会への加盟

②人間ドック健診に関わる健診団体連絡協議会設立準備委員会の検討

③NPO 法人人間ドック健診協会等他団体との連携を深める

④日本総合健診医学会との相互交流(副理事長懇談会の開催等)

⑤健康保険組合連合会との共同研究事業及び厚生科学研究事業等積極的に参加

⑥全国労働衛生団体連合会との腹部超音波検査の精度管理事業の共同実施

⑦事務局体制の強化

2) 役員／社員／会員数等

①役員数等
理事長 1名
副理事長 5名
理事 24名
監事 3名
(名誉顧問) 16名
(名誉会員) 50名

②社員数 183名(内役員は32名)

③正会員 / 施設会員 / 賛助会員数 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

A 会員 (医師)	5,532 人
B 会員 (医師以外)	469 人
C 会員 (施設 (医療機関))	1,649 施設
S 会員 (企業など)	32 団体

④その他

・人間ドック認定医・専門医数及び指導医、研修施設数 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

認定医交付人数	5,029 人
専門医交付人数	1,406 人
研修施設数 (新制度)	266 施設
指導医数 (新制度)	676 人
研修施設 (旧制度)	46 施設
指導数 (旧制度)	110 人

・人間ドック健診情報管理指導士累積人数	6,005 人 (平成 28 年 3 月 31 日現在)
・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	938 人 (平成 28 年 3 月 31 日現在)
・人間ドック健診施設機能評価累積認定数	365 施設 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

・一日ドック／二日ドック指定数 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

一日ドック	292 施設
二日ドック	490 施設

II. 人間ドック認定医制度

1. 第17回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、平成27年4月1日の認定者数は170名であり、認定医交付総数として5,029名となった。

2. 第12回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度（更新）は、平成27年4月1日の更新者数は385名であり、更新者総数は3,206名である。

III. 人間ドック健診専門医制度

平成23年度より名称を『人間ドック健診専門医』と変更し、平成24年度より日本総合健診医学との合同事業となったことから、平成27年度人間ドック健診専門医認定試験を両学会合同にて実施し、当日受験者数235名（日本人間ドック学会215名、日本総合健診医学会20名）、受験合格者数は233名（日本人間ドック学会213名、日本総合健診医学会20名）であった。日本人間ドック学会更新者は136名、日本総合健診医学会更新者42名が新たに新制度に移行し人間ドック健診専門医認定者は合計411名となった。人間ドック健診専門医認定者には、両学会認定の専門医認定証を交付し、更新までの5年間に50単位（両学会企画30単位以上・両学会以外の企画上限20単位）を取得することとなる。

◆平成27年度人間ドック健診専門医認定試験（日本総合健診医学会との合同4回目）

日 時：平成27年10月25日（日） 13:00～15:00（受付11:30～）

会 場：品川フロントビル 地下1階（東京都港区港南2丁目3-13）

受験対象者：社員および申請した認定医更新者等 資格該当者

試験内容：●両学会の問題集および追加問題含め 計100問出題

●100問×1回（100分間） マークシート方式による筆記試験

◆平成27年度人間ドック健診専門医 認定者数

・日本人間ドック学会 平成27年度専門医認定者数：213名、新制度更新者数：136名 合計411名
（日本総合健診医学会 平成27年度認定者数：20名 新制度更新者数：42名）

認定期間は、平成28年4月1日～平成33年3月31日 5年間とする。

【人間ドック（健診）専門医認定者数（累計）：1,406名】

◆平成27年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

新制度条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

・日本人間ドック学会 指導医：273名（新規認定166名、更新認定13名）

研修施設：77施設（新規認定20施設、更新施設14施設）

（日本総合健診医学会： 指導医：新規認定9名、更新認定85名

研修施設：新規認定1施設、更新施設42施設）

認定期間は、平成28年4月1日～平成33年3月31日 5年間とする。

IV. 人間ドック健診施設機能評価

平成 28 年 3 月末現在、486 施設から受審申請がある。認定施設の累計は 365 施設である。(うち 2 回更新済み 93 施設、1 回更新済み 152 施設、更新辞退 30 施設)

認定施設の分布状況は、44 都道府県に認定施設がある。(申請は全 47 都道府県からある)

【認定施設の分布 *平成 28 年 3 月末現在】

北海道	13	東京都	55	滋賀県	2	香川県	4
青森県	3	神奈川県	21	京都府	11	愛媛県	3
岩手県	3	新潟県	6	大阪府	24	高知県	3
宮城県	8	富山県	2	兵庫県	12	福岡県	11
秋田県	4	石川県	2	奈良県	3	佐賀県	2
山形県	4	福井県	3	和歌山県	0	長崎県	3
福島県	2	山梨県	1	鳥取県	0	熊本県	3
茨城県	4	長野県	12	島根県	2	大分県	4
栃木県	5	岐阜県	7	岡山県	9	宮崎県	0
群馬県	5	静岡県	8	広島県	10	鹿児島県	3
埼玉県	10	愛知県	19	山口県	3	沖縄県	4
千葉県	12	三重県	7	徳島県	1	海外(台湾)	2

◆第 16 回サーベイヤー研修会

サーベイヤーのスキルアップおよび最新の評価基準の解釈周知等を目的に例年開催している。

1. 日 時：平成 27 年 7 月 29 日（水） 13：00～15：30
2. 会 場：パシフィコ横浜会議センター 3F 「303」
3. 参加者：サーベイヤー 89 名

◆公式講習会

受審（希望）施設を対象に講習会を開催した。

<第 1 回>

1. 日 時：平成 27 年 4 月 24 日（金） 12:30～16：00
2. 会 場：一般財団法人主婦会館プラザエフ ※7F
3. 参加者数：109 名（55 施設）
4. 講 師：那須 繁（医療法人財団 博愛会 理事長）
高橋 直樹（医療法人社団 相和会横浜総合健診センター）
米澤 勝美（一般財団法人 関西労働保健協会 常務理事）
荒井 真吾（新赤坂クリニック 事務長）
石坂 裕子（三井記念病院総合健診センター センター長）

<第2回>

- 1.日 時：平成27年9月18日（金） 12:30～16:00
- 2.会 場：西鉄イン福岡 アクロス福岡前
- 3.参加者数：43名(22施設)
- 4.講 師：小山 和作（日本赤十字社 熊本健康管理センター 名誉所長）
那須 繁（医療法人財団 博愛会 理事長）
石坂 裕子（三井記念病院総合健診センター センター長）
高橋 直樹（医療法人社団 相和会横浜総合健診センター）
荒井 真吾（新赤坂クリニック 事務長）
米澤 勝美（一般財団法人 関西労働保健協会 常務理事）

<第3回>

- 1.日 時：平成27年11月26日（木） 12:30～16:00
- 2.会 場：スクワール麹町（東京・四谷）
- 3.参加者：100名（57施設）
- 4.講 師：小山 和作（日本赤十字社 熊本健康管理センター 名誉所長）
那須 繁（医療法人財団 博愛会 理事長）
石坂 裕子（三井記念病院総合健診センター センター長）
高橋 直樹（医療法人社団 相和会横浜総合健診センター）
荒井 真吾（新赤坂クリニック 事務長）
米澤 勝美（一般財団法人 関西労働保健協会 常務理事）

プログラム：機能評価事業の目的～認定施設に求められる基本的姿勢・理念とは～（講師 小山和作）
人間ドック健診施設機能評価～Ver.3改訂のポイント～（講師 那須繁）
訪問調査概要（書面調査・施設内調査）（講師 米澤勝美）
各領域の評価基準について（講師 荒井真吾・高橋直樹・石坂裕子）
受審に関するQ&A（全登壇者）

◆健保連等との人間ドック指定契約について

平成28年3月末現在の契約施設は、一日ドック292施設（うち1施設休止中）、二日ドック490施設（うち3施設休止中）である。

なお、旧制度の優良二日ドック指定施設で、指定継続を希望する施設においては、次回更新時にまでに実査（実態調査）を実施することとなる。

V. 研修会・人材育成活動

1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

●第40回人間ドック健診認定医・専門医研修会

日時：平成27年8月1日（土） 9：30～12：45

会場：パシフィコ横浜メインホール/サテライト会場 1,184名

【前半司会：山門實副理事長・後半司会：楠木淳一委員】

開会挨拶 奈良 昌治 日本人間ドック学会 理事長

9：35～10：35 「医療安全 ～最近の動向について」

長谷川 友紀 東邦大学医学部 社会医学講座 教授

10：35～11：35 「ロコモティブシンドローム概念と評価・対処法」

中村 耕三 国立障害者リハビリテーションセンター 総長

11：45～12：45 「前立腺癌の診断と治療の最新トピックス

～ロボット支援手術の発展を踏まえて～

橘 政昭 東京医科大学 泌尿器科学分野 主任教授

●第41回人間ドック健診認定医・専門医研修会

日時：平成27年9月27日（日） 12：30～15：45

会場：神戸ポートピアホール 492名

【司会：原茂子委員】

12：35～13：35 「全国がん登録について +胃がん検診について」

祖父江 友孝 大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座 環境医学教授

13：35～14：35 「遺伝子検査の現状と課題」

田口 淳一 ミッドタウンクリニック代表、東京ミッドタウンクリニック
院長、東京ミッドタウン先端医療研究所 所長

14：45～15：45 「脳機能画像から見た感情の分析」

高橋 英彦 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学精神医学教室
准教授

●第42回人間ドック健診認定医・専門医研修会

日時：平成28年3月6日（日） 12：30～15：45

会場：東京ビッグサイト 7F 国際会議場 753名

【司会：石坂裕子委員】

開会挨拶 奈良 昌治 日本人間ドック学会 理事長

12：35～13：35 「胸部単純写真の読影 肺癌を見逃さないために」

黒崎 敦子 公益財団法人結核予防会 複十字病院放射線診断科 診療主幹

13：35～14：35 「子宮頸がん検診～液状化検体細胞診(LBC)の有用性～」

植田 政嗣 公益財団法人大阪がん循環器病予防センター婦人科検診部
部長

14：45～15：45 「骨粗鬆症の診断と治療 ～最近の動向～」

竹内 靖博 虎の門病院 内分泌センター 部長

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

- 人間ドック健診情報管理指導士 研修会
 (対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	日程	会場	認定者数	内訳
第 25 回	平成 27 年 6 月 5 日 (金)～6 日 (土)	大崎ブライトコ アホール (東京)	165 名	医師：28 名 保健師：98 名 管理栄養士：39 名 (他修了者：22 名)
第 26 回	平成 28 年 1 月 15 日 (金)～16 日 (土)	大崎ブライトコ アホール (東京)	188 名	医師：45 名 保健師：103 名 管理栄養士：40 名 (他修了者：21 名)

【平成 27 年度 プログラムと担当講師】

- 『基礎編：①健診・保健指導の理念②保健指導対象者の選定と階層化③保健指導の基本的事項』
 ・福井 敏樹 (医療法人社団如水会 オリーブ高松メディカルクリニック予防医療センター 院長)
- 『基礎編：④保健指導の立案～評価まで⑤ポピュレーションアプローチとの連動』
 ・奥田 友子 (一般財団法人京都工場保健会 事務局総務 次長)
- 『技術編：①メタボリックシンドロームの概念』
 ・和田 高士 (東京慈恵会医科大学大学院健康科学 教授)
- 『技術編：②行動変容に関する理論③生活習慣病改善への行動計画④情報提供、動機付積極的支援の内容』
 ・津下一代 (あいち健康の森健康科学総合センター センター長)
- 技術編⑤『身体活動・運動に関する保健指導』
 ・宮地 元彦 (独立行政法人国立健康・栄養研究所 健康増進研究部長)
- 『たばこ・アルコールに関する保健指導』
 ・中村 正和 (公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター センター長)
- 『食生活に関する保健指導』
 ・林 芙美 (女子栄養大学栄養学部 食生態学研究室 専任講師)
- 『特定保健指導で役立つ口腔保健の知識』
 ・加藤 元 (日本アイ・ビー・エム健康保険組合 予防歯科)
- 『技術編⑥：保健指導の展開』(演習)
 ・津下 一代 (あいち健康の森健康科学総合センター センター長)
 ・村本 あき子 (あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部長)
 ・秋元 順子 (医療法人社団こころとからだの元気プラザ 保健師)
- 『技術編⑦：保健指導の評価』
 ・村本 あき子 (あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部長)
- 『人間ドック健診におけるがん検診—その現状と展望—』
 ・三原 修一 (みはらライフケアクリニック 院長)

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会
 (対象：医師・保健師・管理栄養士・食生活改善指導士)

回	日程	会場	参加者数	内訳
第 34 回	平成 27 年 7 月 12 日 (日)	AP 浜松町 (東京)	<u>215 名</u>	医師：103 名 保健師：56 名 管理栄養士：43 名 看護師等：13 名
第 35 回	平成 27 年 9 月 12 日 (土)	天満研修センター (大阪)	<u>157 名</u>	医師：57 名 保健師：59 名 管理栄養士：37 名 看護師等：4 名
第 36 回	平成 27 年 10 月 26 日 (土)	AP 東京八重洲通り (東京)	<u>274 名</u>	医師：76 名 保健師：113 名 管理栄養士：73 名 看護師等：12 名
第 37 回	平成 27 年 12 月 5 日 (土)	AP 大阪駅前梅田 1 丁目 (大阪)	<u>201 名</u>	医師：76 名 保健師：76 名 管理栄養士：43 名 看護師等：6 名
第 38 回	平成 28 年 2 月 21 日 (日)	AP 浜松町 (東京)	<u>211 名</u>	医師：82 名 保健師：89 名 管理栄養士：40 名

【平成 27 年度 プログラムと担当講師】

『特定保健指導の効果分析による効果的な保健指導について』

- ・津下 一代 (あいち健康の森健康科学総合センター センター長)
- ・福井 敏樹 (医療法人社団如水会 オリーブ高松メディカルクリニック 予防医療センター 院長)

『食事摂取基準 2015 年版』

- ・林 芙美 (女子栄養大学栄養学部 食生態学研究室 専任講師)

『禁煙成功率を高める禁煙支援のポイント』

- ・中村 正和 (公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター センター長)

『専門家でなくてもできるお酒の減らし方』

- ・真栄里 仁 (独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 教育情報部長)

『事例検討』 (演習テーマ：たばこが多くメタボな方への保健指導/
飲酒が多くメタボな方の保健指導)

(事例提供)

- ・秋元 順子 (医療法人社団こころとからだの元氣プラザ 保健師)
- ・奥田 友子 (一般財団法人京都工場保健会 総務事務局 次長)
- ・中村 誉 (愛知県健康づくり振興事業団 健康支援事業室 管理栄養士)

(事例における運動指導のポイント講義)

- ・宮地 元彦 (独立行政法人国立健康・栄養研究所 健康増進研究部長)
- ・村上 晴香 (独立行政法人国立健康・栄養研究所 健康増進研究部
運動ガイドライン研究室 研究員)

(事例における食生活指導のポイント講義)

- ・林 芙美 (女子栄養大学栄養学部 食生態学研究室 専任講師)
- ・須賀 厚子 (医療法人社団こころとからだの元氣プラザ 健康支援部 科長)

(演習リーダー)

- ・津下 一代 (あいち健康の森健康科学総合センター センター長)
- ・村本 あき子 (あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部長)
- ・武藤 繁貴 (聖隷健康診断センター 所長)

(演習サブ/専門家からのポイント講義)

- 中村 正和 (公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスポモーション研究センター センター長)
- 真栄里 仁 (独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 教育情報部長)
- 福井 敏樹 (医療法人社団如水会 オリーブ高松メディカルクリニック 予防医療センター 院長)
- 東本 恵 (一般財団法人京都工場保健会 保健指導課)

VI. 第 56 回 日本人間ドック学会学術大会

1. 開催概要

- | | | |
|----------|------------------------------|---------|
| 1. 開催日程 | 平成 27 年 7 月 30 日(木)・31 日(金) | |
| 2. 開催会場 | パシフィコ横浜 | |
| 3. 学術大会長 | 土屋 敦 (医療法人社団 相和会 理事長) | |
| 4. テーマ | 『人間ドック健診イノベーション —新機軸の創生と展開—』 | |
| 5. 開催内容 | 学術大会長講演 | 1 題 |
| | 特別講演 | 1 題 |
| | 教育講演 | 1 題 |
| | 招待講演 | 1 題 |
| | シンポジウム | 3 題 |
| | パネルディスカッション | 2 題 |
| | 特別企画 | 2 題 |
| | 国際セッション | 2 題 |
| | 国際セッション (口頭発表) | 10 題 |
| | 会員集会・全国集計報告ほか | 1 題 |
| | 一般演題※ (申込数: 514) | 507 題* |
| | | 計 531 題 |

*口頭発表: 404 題、ポスター発表: 103

ランチョンセミナー	16 題
企業展示	95 ブース (78 社)

- | | |
|-----------------------|--|
| 6. 参加実人数 | 5,300 名 (内 4,639 名/有料) |
| ・事前登録参加者 | 2,324 名
(医師 1,381 名)
(その他 943 名) |
| ・当日参加者 | 2,315 名
(医師 1,480 名)
(その他 835 名) |
| ・招待者 | 111 名 |
| ・ランチョンセミナー共催企業 (16 社) | 160 名 |
| ・展示企業 (78 社) | 390 名 |

- | | | |
|---------|-------------------------|---------|
| 7. 併設企画 | 第 40 回人間ドック健診認定医・専門医研修会 | 1,184 名 |
|---------|-------------------------|---------|

- | | | |
|---------|-------------------------------------|--------------|
| 8. 市民向け | 市民公開講座 「がん検診を知ろう—あなたが主人公となるために—」 | |
| | 主催: 第 56 回日本人間ドック学会学術大会 | |
| | 公益社団法人 日本人間ドック学会 | |
| | 共催: 特定非営利活動法人 日本人間ドック健診協会 | |
| | 協力: 認定特定非営利活動法人 健康と病いの語りディペックス・ジャパン | |
| | | 参加人数 約 220 名 |

2. 学術大会主要プログラム

主要プログラム

第1日目(7月30日(木)第1会場(パシフィコ横浜 1F メインホール)

- 開会式 8:45 ~ 9:00
- 大会長講演 9:00 ~ 9:30
「高齢者に優しい健診の提案」
座長：小山 和作 (日本赤十字社 熊本健康管理センター 名誉所長)
演者：土屋 敦 (医療法人社団 相和会 理事長)
- 教育講演 9:30 ~ 10:45
「認知症の画像診断の現状と展望」
座長：伊藤千賀子 (医療法人 グランドタワー メディカルコート 理事長)
演者：松田 博史 (独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター センター長)
- 招待講演 10:45 ~ 11:45
「総理の器量～真のリーダーとは」
座長：比企 能樹 (北里大学 名誉教授)
演者：橋本 五郎 (読売新聞 特別編集委員)
- 特別講演 13:45 ~ 14:45
「自然としての身体」
座長：別府 宏暎 (医療法人社団 相和会 横浜総合健診センター 院長)
演者：養老 孟司 (東京大学 名誉教授) 29 (143)
- シンポジウム I 15:00 ~ 17:00
「進む情報化社会と人間ドック健診イノベーション」
座長：中村 哲也 (IMS グループ 板橋中央総合病院 理事長)
武田 隆久 (武田病院グループ 理事長)
演者：「ICT を活用した健康管理支援」
村田 理絵 (一般財団法人京都工場保健会産業保健推進部保健指導課課長)
受診者指向型システムによるCRM戦略
勝目 洋 (社会医療法人 生長会 ベルクリニック 健診事業部 課長)
「健康支援ソフトを活用したセルフケアシステムの構築」
～継続したフォローアップを目指して～
鳥羽山睦子 (聖隷保健事業部 保健看護管理室 室長)
「情報化と人間ドック健診の融合」
川島 友洋 (医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院 健康管理課係長)
「複数健診施設の統合予約センターについて」
松原 紀宏 (武田病院グループ 本部医療技術部 科長)
「IMS (イムス) グループにおける遠隔画像読影システムの現状と今後の課題」
伊藤 大智 (IMS グループ医療法人財団明理会千葉ロイヤルクリニック 事務長)

第1日目(7月30日(木)第2会場(パシフィコ横浜 5F 501+502)

- パネルディスカッション I 15:00 ~ 17:00
「腹部超音波検査のカテゴリー判定と事後指導」
座長：桑島 章 (PL 東京健康管理センター 画像診断アドバイザー)
三原 修一 (みはらライフケアクリニック 院長)
基調講演：「腹部超音波健診マニュアルの特徴」
水間 美宏 (神戸アドベンチスト病院 消化器内科 部長)
演者：「腹部超音波検査のカテゴリー分類の導入と問題点」
岡庭 信司 (飯田市立病院 消化器内科 部長)
肝臓における判定と注意点
熊田 卓 (大垣市民病院 副院長)
「腹部超音波検査のカテゴリー判定と事後指導」～当協会での取り組みと成績～

千葉 祐子 (公益財団法人 北海道労働保健管理協会 臨床検査部 課長)
「当院人間ドックにおける腹部超音波健診マニュアル導入の試み」
川端 聡 (住友病院 診療技術部 超音波技術科 主任)
「当センターにおける腹部超音波検査カテゴリ判定の使用した結果と判定区
分の解離について～技師の立場から
～」

田中 信次 (日本赤十字社 熊本健康管理センター 係長)
特別発言：田中 幸子 (大阪がん循環器病予防センター 所長)

第2日目(7月31日(金)第1会場(パシフィコ横浜 1F メインホール)

■ シンポジウム II 9:30 ~ 11:30

「遺伝子検査の現状と近未来」

座長：村松 正明 (東京医科歯科大学難治疾患研究所ゲノム応用医学研究部門教授)

田口 淳一 (東京ミッドタウン先端医療研究所 所長)

演者：「多因子疾患の遺伝子検査がもたらす健康観・疾病観の変化」

村松 正明

「ゲノム情報の適正な利用に向けて」

堤 正好 (株式会社エスアールエル (NPO 法人個人遺伝情報取扱協議会))

「遺伝カウンセリングの実際と注意点」(模擬カウンセリング)

認定遺伝カウンセラー：青木 美保 (埼玉県立がんセンター)

堀尾留里子 (東京ミッドタウンクリニック)

■ 日本人間ドック学会会員集会 13:05 ~ 14:45

・事業報告等

報告：奈良 昌治 (日本人間ドック学会 理事長)

・第57回学術大会について

報告：相澤 孝夫 (第57回学術大会長 社会医療法人財団慈泉会理事長、
相澤健康センター名誉顧問)

・2014年人間ドック全国集計成績報告

報告：笹森 齊 (人間ドック健診統計調査委員会 委員長)

・各種委員会報告

『基本検査項目における基準範囲について(最終報告)』 渡辺 清明

『学術委員会がん登録小委員会 2011年調査報告』 三原 修一

『保健指導実施施設認定事業について』 那須 繁

・表彰式

人間ドック健診施設機能評価優秀賞

学会誌平成26(2014)年度 優秀論文賞

■ 閉会式 16:00 ~ 16:30

プレナリーセッション最優秀口頭・ポスター(学術大会長賞)表彰式

第2日目7月31日(金)第2会場(パシフィコ横浜 5F 501+502)

■ パネルディスカッション II 9:30 ~ 11:30

「ABC分類によって、今後の任意型(人間ドック健診)胃検診は変わっていくのか」

座長：入口 陽介 (東京都がん検診センター 消化器科 部長)

井上 和彦 (川崎医科大学 総合臨床医学 准教授)

演者：「人間ドック受診者におけるABC分類の意義」

小林 正夫 (京都第二赤十字病院 健診部 部長)

「ABC分類を併用した人間ドック健診10年間の成績」

伊藤 慎芳 (四谷メディカルキューブ 消化器内科 部長)

「人間ドックにABC分類は必要か？」

安田 貢 (KKR 高松病院 人間ドックセンター センター長)

「人間ドックにおける胃がんリスク判定の現状と課題」

一赤十字健康管理事業研究会アンケート調査より一

川田 和昭 (静岡赤十字病院 健診センター・経鼻内視鏡センター 健診部長)
「任意型胃がん検診における ABC リスク分類の問題点と課題」
吉村 理江 (医療法人財団博愛会人間ドックセンター
ウイメンズウェルネス天神 所長)
「人間ドックにおける胃がんリスク検査の現状と課題」
満崎 克彦 (済生会熊本病院 予防医療センター 副部長)
「ABC 検診による人間ドック受診者の検診受診の動機づけと除菌治療を含めた
事後管理について」
加藤 勝章 (宮城県対がん協会 がん検診センター 副所長)
「当センターにおける任意型胃検診の現状と今後」
小田 丈二 (公益財団法人 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター
消化器内科医長)

■ シンポジウム III 13:15 ~ 15:15

「ストレスチェックにどのように取り組んでいくべきか」

座長：相澤 好治 (北里大学 名誉教授)

渡辺 登 (赤坂診療所 所長)

演者：「改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度の概要」

泉 陽子 (厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課長)

「事業場での実施方法・活用方法」

小田切優子 (東京医科大学 公衆衛生学分野 講師)

「ストレスチェックと医師の面接指導での課題」

渡辺 登 (赤坂診療所 所長)

「ストレスチェックにどのように取り組んでいくべきか」

伊藤 寛臣 (医療法人社団 こころとからだの元氣プラザ

こころの健康相談室 室長)

第3 会場 (パシフィコ横浜 5F 503)

■ 特別企画 I 9:30 ~ 11:30

「腹部超音波検査ライブセミナー」

「胆道、膵臓、肝臓、腎臓の走査技術と超音波解剖の解説」

司会：竹原 靖明 (医療法人社団 相和会 澁野辺総合病院)

演者：肝臓、腎臓

若杉 聡 (亀田総合病院 消化器診断科 部長・超音波センター長)

「胆道、膵臓」

岡庭 信司 (飯田市立病院 消化器内科 部長)

協力：東芝メディカルシステムズ株式会社

第2 日目 7月 31 日 (金) 主要プログラム

第6 会場 国際セッション (パシフィコ横浜 4F 416+417)

■ Intenational Session 13:00 ~ 15:55

○Special Lecture I 13:00 ~ 13:30

「Health Checkup in Taiwan, The past and Present」

Chair: Toshimitsu Niwa (Professor, Faculty of Health and Nutrition, Shubun
University)

Speaker: CHI, Long-Jin (Taiwan Adventist Hospital, Priority Care Center Medical
Director)

The 56th Annual Scientific Meeting of Japan Society of Ningen Dock

○Special Lecture II 13:35 ~ 14:05

「Current status of health checking system in Korea」

Chair: Yukito Shinohara (Senior Adviser, Federation of National Public Service
Personnel Mutual Aid Associations, and Tachikawa
Hospital.)

Speaker: Sue K. Park (Department of Preventive Medicine Seoul National University
College of Medicine)

決算報告

平成 28 年 3 月 31 日 現在

貸借対照表

平成28年3月31日現在

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	186,283,870	152,869,838	33,414,032
未収金	538,012	10,437,199	△ 9,899,187
前払金	2,007,558	1,955,286	52,272
立替金	230,396	31,620	198,776
流動資産合計	189,059,836	165,293,943	23,765,893
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
建物	1,502,109	1,732,535	△ 230,426
什器備品	900,188	1,500,313	△ 600,125
ソフトウェア	525,360	690,480	△ 165,120
その他固定資産合計	2,927,657	3,923,328	△ 995,671
固定資産合計	2,927,657	3,923,328	△ 995,671
資産合計	191,987,493	169,217,271	22,770,222
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,317,622		3,317,622
未払消費税等	2,251,300	2,775,700	△ 524,400
前受金	8,270,000	12,610,000	△ 4,340,000
預り金	968,729	907,939	60,790
仮受金	40,000	60,000	△ 20,000
共同研究事業引当金		3,458,440	△ 3,458,440
流動負債合計	14,847,651	19,812,079	△ 4,964,428
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計	14,847,651	19,812,079	△ 4,964,428
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	71,084,813	71,084,813	
(うち特定資産への充当額)			
2. 指定正味財産			
受取寄付金			
指定正味財産合計	0	0	
(うち特定資産への充当額)			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	
(2) その他の一般正味財産	106,055,029	78,320,379	27,734,650
一般正味財産合計	106,055,029	78,320,379	27,734,650
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	177,139,842	149,405,192	27,734,650
負債及び正味財産合計	191,987,493	169,217,271	22,770,222

貸借対照表内訳表

平成28年3月31日現在

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	25,649,431	1,286,154	159,348,285		186,283,870
未収金		538,012			538,012
前払金	1,391,472		616,086		2,007,558
立替金			230,396		230,396
流動資産合計	27,040,903	1,824,166	160,194,767	0	189,059,836
2. 固定資産					
(1) その他固定資産					
建物	1,314,345	93,882	93,882		1,502,109
什器備品	0	0	900,188		900,188
ソフトウェア	525,360	0	0		525,360
長期預け金			35,636,289	△ 35,636,289	
その他固定資産合計	1,839,705	93,882	36,630,359	△ 35,636,289	2,927,657
固定資産合計	1,839,705	93,882	36,630,359	△ 35,636,289	2,927,657
資産合計	28,880,608	1,918,048	196,825,126	△ 35,636,289	191,987,493
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	3,317,622				3,317,622
未払消費税等	1,989,385	260,387	1,528		2,251,300
前受金	8,270,000				8,270,000
預り金		280,000	688,729		968,729
仮受金			40,000		40,000
流動負債合計	13,577,007	540,387	730,257	0	14,847,651
2. 固定負債					
長期預り金	35,542,407	93,882		△ 35,636,289	
固定負債合計	35,542,407	93,882	0	△ 35,636,289	0
負債合計	49,119,414	634,269	730,257	△ 35,636,289	14,847,651
III 正味財産の部					
1. 基金					
基金	35,542,406		35,542,407		71,084,813
(うち特定資産への充当額)					
2. 指定正味財産					
受取寄付金					
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)					
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	△ 55,781,212	1,283,779	160,552,462		106,055,029
一般正味財産合計	△ 55,781,212	1,283,779	160,552,462	0	106,055,029
(うち特定資産への充当額)					
正味財産合計	△ 20,238,806	1,283,779	196,094,869	0	177,139,842
負債及び正味財産合計	28,880,608	1,918,048	196,825,126	△ 35,636,289	191,987,493

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

公益社団法人日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	105,492,000	104,914,000	578,000
正会員受取会費	55,362,000	55,414,000	△ 52,000
施設会員受取会費	49,170,000	48,660,000	510,000
賛助会員受取会費	960,000	840,000	120,000
事業収益	209,135,390	192,475,426	16,659,964
学術大会参加収益	53,666,390	38,255,000	15,411,390
学術大会展示出店料収益	19,330,000	20,146,426	△ 816,426
学術大会共催セミナー収益	8,100,000	13,824,000	△ 5,724,000
認定医・専門医研修会事業収益	24,190,000	21,120,000	3,070,000
専門医試験・認定事業収益	13,292,000	6,220,000	7,072,000
認定医認定・更新事業収益	9,700,000	8,810,000	890,000
情報管理指導士研修認定事業収益	29,267,000	33,376,000	△ 4,109,000
食生活改善指導士研修事業収益		573,000	△ 573,000
機能評価審査・認定事業収益	27,650,000	26,100,000	1,550,000
指定事業収益	22,410,000	22,540,000	△ 130,000
雑誌販売事業収益	1,530,000	1,395,000	135,000
国際人間ドック会議会費		116,000	△ 116,000
受取補助金等	0	9,000,000	△ 9,000,000
助成金		9,000,000	△ 9,000,000
受取寄付金	4,940,300	6,072,769	△ 1,132,469
受取寄付金	4,940,300	24,000	4,916,300
受取寄付金振替額		6,048,769	△ 6,048,769
雑収益	9,560,998	9,339,629	221,369
受取利息	10,838	20,499	△ 9,661
広告掲載料収益	3,379,000	3,578,000	△ 199,000
雑収益	6,171,160	5,741,130	430,030
経常収益計	329,128,688	321,801,824	7,326,864
(2) 経常費用			
事業費	275,061,240	269,544,630	5,516,610
給料手当	39,638,157	38,373,698	1,264,459
法定福利費	5,659,188	5,239,622	419,566
退職給付費用	1,736,020	1,605,870	130,150
福利厚生費		232,884	△ 232,884
旅費交通費	20,535,384	25,047,691	△ 4,512,307
通信運搬費	10,422,051	9,007,682	1,414,369
減価償却費	381,144	458,114	△ 76,970
消耗品費	7,915,767	82,756	7,833,011
印刷製本費	40,027,646	45,824,803	△ 5,797,157
光熱水料費	568,435	592,638	△ 24,203
賃借料	60,552,985	32,553,475	27,999,510
会議費	6,601,906	10,488,667	△ 3,886,761
諸謝金	13,786,186	10,401,896	3,384,290
租税公課	4,293,584	4,089,900	203,684
委託費	62,385,177	83,329,922	△ 20,944,745
支払助成金		2,000,000	△ 2,000,000
雑費	557,610	215,012	342,598
管理費	26,332,798	24,460,298	1,872,500
給料手当	3,548,953	3,438,084	110,869
法定福利費	521,749	502,520	19,229
退職給付費用	144,000	136,800	7,200
福利厚生費	509,940	619,296	△ 109,356
旅費交通費	7,121,080	6,370,740	750,340
通信運搬費	2,103,267	2,043,274	59,993
減価償却費	614,527	943,616	△ 329,089
消耗什器備品費	203,796		203,796
消耗品費	1,351,382	966,271	385,111
修繕費	140,400	193,320	△ 52,920
印刷製本費	1,953,740	1,739,836	213,904
光熱水料費	37,895	39,509	△ 1,614
賃借料	769,085	1,807,814	△ 1,038,729
会議費	1,320,559	885,312	435,247
保険料	588,297	441,930	146,367
諸謝金	455,000	375,000	80,000
租税公課	151,916	173,320	△ 21,404
委託費	3,469,438	3,441,506	27,932
交際費	179,288	124,081	55,207
雑費	1,148,486	218,069	930,417
経常費用計	301,394,038	294,004,928	7,389,110
当期経常増減額	27,734,650	27,796,896	△ 62,246
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	27,734,650	27,796,896	△ 62,246
一般正味財産期首残高	78,320,379	50,523,483	27,796,896
一般正味財産期末残高	106,055,029	78,320,379	27,734,650
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
受取寄付金	0	4,300,000	△ 4,300,000
一般正味財産への振替額	0	△ 6,048,769	6,048,769
指定正味財産期首残高	0	1,748,769	△ 1,748,769
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
基金受入額			0
基金返還額			0
基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
IV 正味財産期末残高	177,139,842	149,405,192	27,734,650

正味財産増減計算書内訳表

自平成27年4月1日
至平成28年3月31日

公益社団法人 日本人間ドック学会

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計			
	①学術大会・国際学会	②学会誌	③研修費・研修料 認定(認定医・専門医・機能科医) ④事務料取(経費 管理・生活衛生改善 指導士研修費)	⑤統計・調査	共通	小計	①指定	共通				小計		
													⑥指定	共通
I. 一般正味財産増減の部														
【(1) 経常増減の部】														
1. 受取会費	0	0	0	0	0	27,681,000	0	0	27,681,000	0	0	27,681,000	0	55,362,000
1101 正会員受取会費														
1102 随員受取会費														
1103 随員受取会費														
1104 随員受取会費														
2. 事業収益	53,666,390	0	0	0	0	53,666,390	0	0	53,666,390	0	0	53,666,390	0	19,330,000
1201 学術大会参加収益														
1202 学術大会展示店料収益														
1203 学術大会共同セミナー収益														
1204 認定医・専門医研修会事業収益														
1205 専門医試験・認定事業収益														
1206 認定医試験・更新事業収益														
1207 認定医認定・更新事業収益														
1208 食生活改善指導士研修事業収益														
1209 機能科医認定事業収益														
1210 指定事業収益														
1211 指定事業収益														
1212 国際人間ドック会費														
3. 受取補助金等	730,500	14,500	785,000	0	0	785,000	0	0	785,000	0	0	785,000	0	24,190,000
1301 助成金														
1401 受取寄付金														
1402 受取寄付金振替額														
1501 受取利息														
1502 広告掲載料収益														
1503 雑収益														
【経常収益計】	89,215,595	1,218,817	76,972,050	29,267,000	1,395,179	139,868,636	22,410,000	2,747,874	142,286,510	53,156,173	0	195,442,683	0	329,128,688
(2) 経常費用														
1. 事業費	1,813,733	1,808,209	23,755,352	7,278,969	3,241,130	35,697,393	0	0	35,697,393	0	0	35,697,393	0	39,638,157
2101 給料手当														
2102 法定福利費														
2103 退職給付費用														
2104 福利厚生費														
2105 旅費交通費														
2106 通信運搬費														
2107 減価償却費														
2108 消耗什器備品費														
2109 消耗品費														
2110 修繕費														
2111 印刷製本費														
2112 光熱水料費														
2113 賃借料														
2114 会費料														
2115 保険料														
2116 雑財金														
2117 租税公課														
2118 委託費														
2119 支払助成金														
2120 雑費														
2201 給料手当														
2202 法定福利費														
2203 退職給付費用														
2204 福利厚生費														
【経常費用計】	1,813,733	1,808,209	23,755,352	7,278,969	3,241,130	35,697,393	0	0	35,697,393	0	0	35,697,393	0	39,638,157
2. 管理費														
2201 給料手当														
2202 法定福利費														
2203 退職給付費用														
2204 福利厚生費														
【管理費計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【経常増減の部】	87,401,862	1,218,817	76,972,050	29,267,000	1,395,179	139,868,636	22,410,000	2,747,874	142,286,510	53,156,173	0	195,442,683	0	329,128,688

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 適用している会計基準
「公益法人会計基準」(平成20年4月11日平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産
- | | |
|--------|-----|
| 建物付属設備 | 定率法 |
| 什器備品 | 定率法 |

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物付属設備	15年
什器備品	5年

- ②無形固定資産 定額法

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,560,235	1,058,216	1,502,019
什器備品	3,352,237	2,452,049	900,188
合 計	5,912,472	3,510,265	2,402,207

3 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

独立行政法人勤労者退職金共済機構の退職金共済制度に加入し、原則として同機構からの支給額をもって退職金とする。

(2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務	0	当該退職共済制度は確定拠出型のため、退職給付債務は発生しない。
退職給付引当金	0	

(3) 退職給付費用に関する事項

勤務費用	1,880,020	
退職給付費用	1,880,020	当年度に支払った退職金共済掛金の金額である。

財 産 目 録

平成 2 8 年 3 月 3 1 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	振替貯金 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局 普通預金 ： 三井住友銀行麹町支店	支払資金として使用		95,800,945
				50,443,898
				30,039,027
	定期預金 ： 三井住友銀行麹町支店 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局			10,000,000
				538,012
	未収入金	特定健診パンフレット・DVD著作権料		
前払金	翌年度事務所賃料 翌年度研修会等会場費			1,391,472
立替金	職員住民税 他団体経費			167,900 62,496
流動資産合計				189,059,836
(固定資産)				
特定資産	学術大会特定預金	： 三井住友銀行麹町支店	公益目的事業の指定正味財産見合預金	
その他固定資産	建物	事務所賃貸造作	事務局及び会議室 公益目的事業に87.5%、収益事業等に 6.25%、法人管理に6.25%使用	1,502,109
	什器備品	パーソナルコンピューター コピー機	会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用	219,558 680,630
	ソフトウェア		会員管理・事業管理用 (公益目的保有財産) 公益目的事業管理ソフト	525,360
固定資産合計				2,927,657
資産合計				191,987,493
(流動負債)				
未払金	経費未払額			3,317,622
未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額			2,251,300
前受金	次年度事業前受額			8,270,000
預り金	一般社団法人日本病院会 源泉所得税、住民税 社会保険料	指定料		280,000 346,068 342,661
仮受金	会費二重払い、誤納付分			40,000
流動負債合計				14,847,651
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				14,847,651
差引正味財産				177,139,842

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし

2. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
共同研究事業引当金	3,458,440	0	2,541,830	916,610	0	*

* 当期減少額その他は、雑収益に計上した使用残取崩しである。